

平成24年産単年生飼料作物の放射性物質調査結果について

平成24年産単年生飼料作物の放射性物質の調査結果について、下記のとおりお知らせします。

記

1 飼料用麦類（ライ麦，えん麦，ライコムギ，大麦）について

県内全域で暫定許容値を大きく下回りました。今年収穫した麦類は給与して差し支えありません。

なお，酪農経営体にあたっては，原乳の清浄化のための取組に基づき，各酪農協が全酪農家を対象としたサンプリング検査を実施し，その結果により戸別に利用の可否を判断します。

2 単年生牧草（イタリアンライグラス）について

県内全域で暫定許容値を大きく下回りました。今年収穫した単年生牧草は給与して差し支えありません。

なお，ここで言う単年生牧草とは，震災発生（平成23年3月11日）以降に反転・耕起，播種を行ったものが対象になります。

酪農経営体にあたっては，飼料用麦類同様に調査を行い，その結果により戸別に利用の可否を判断します。

3 測定結果

裏面のとおり

4 その他

飼料用とうもろこし，WCS用稲（稲発酵粗飼料）については，収穫時期（8月～9月）に調査を行います。

平成24年産単年生飼料作物放射性物質測定結果

1 測定方法

NaIシンチレーション検出器

2 調査対象

収穫された麦類，単年生牧草

3 測定結果

全ての測定結果で，牛用飼料の暫定許容値100^ベクレル/kg（水分含量80%換算）を下回りました。

（単位：^ベクレル/kg）

地域名	麦類				単年生牧草（イタリアンライグラス）		
	採取日	採取場所	放射性セシウム 測定値※1	備考	採取日	採取場所	放射性セシウム 測定値※1
大河原・仙台	5/14	角田市	不検出	ライ麦	5/15	角田市	不検出
	5/14	丸森町	3 1	〃	5/25	丸森町	3 3
	5/21	蔵王町	不検出	〃	5/31	川崎町	8
	5/21	仙台市	不検出	〃	6/1	角田市	1 3
	5/28	亘理町	1 2	〃	6/1	角田市	9
					6/4	仙台市	不検出
					6/5	山元町	不検出
大崎・栗原	5/14	大崎市	1 7	ライ麦	5/20	大崎市	不検出
	5/14	大崎市	不検出	〃	5/22	大崎市	不検出
	5/14	大崎市	不検出	〃	5/28	大崎市	不検出
	5/14	大崎市	不検出	〃	6/1	大崎市	2 9
	5/14	大崎市	不検出	〃	5/1	涌谷町	2 8
	5/14	大崎市	不検出	〃	5/17	涌谷町	不検出
	5/28	大崎市	不検出	〃	5/22	栗原市	1 8
	5/21	加美町	不検出	〃	5/29	栗原市	不検出
	5/28	加美町	不検出	大麦			
	5/31	栗原市	不検出	ライ麦			
	5/31	栗原市	不検出	〃			
登米・石巻	5/28	登米市	不検出	ライ麦	5/28	登米市	1 8
	5/28	登米市	不検出	〃	5/28	登米市	4 7
	5/31	登米市	不検出	〃	5/31	登米市	不検出
	5/31	登米市	不検出	〃	5/31	登米市	不検出
	5/28	南三陸町	不検出	〃	5/31	登米市	不検出
	5/7	東松島市	不検出	〃	6/4	石巻市	不検出

※1 粗飼料の放射性セシウムの暫定許容値は100^ベクレル/kg（水分含量80%換算）であり，収穫後の状態の粗飼料は乾燥していることから，測定値は水分含量80%へ補正した値である。

※2 「不検出」と表記されているものは，50^ベクレル/kg（水分含量80%換算）以下である。ただし，測定サンプルや測定条件により検出限界は上下することから，50^ベクレル/kg（水分含量80%換算）以下でも測定値が表記される場合がある。

地域名	対象市町村
大河原・仙台	白石市，角田市，蔵王町，七ヶ宿町，大河原町，村田町，柴田町，川崎町，丸森町，仙台市，塩竈市，名取市，多賀城市，岩沼市，亘理町，山元町，松島町，七ヶ浜町，利府町，大和町，大郷町，富谷町，大衡村
大崎・栗原	大崎市，色麻町，加美町，涌谷町，美里町，栗原市
登米・石巻	登米市，気仙沼市，南三陸町，石巻市，東松島市，女川町

(別紙)

平成24年産単年生飼料作物の調査・解除方法

1 地域区分

3地域（大河原・仙台地域，大崎・栗原地域，登米・石巻地域）

2 対象作物

単年生牧草（イタリアンライグラス），麦類（ライ麦，えん麦，ライコムギ[※]，大麦），飼料用とうもろこし，WCS用稲（稲発酵粗飼料）

※震災以降に，反転・耕起，播種を行ったもの

3 調査方法

(1) 予備調査

単年生牧草，麦類は収穫前の状態のものについて予備調査を行う

(2) 本調査

単年生牧草，麦類，WCS用稲は収穫後の状態のもの，飼料用とうもろこしは収穫直前のものから採材を行う。

※予備調査は収穫の可否判断のために実施し，本調査で利用の可否を判断する。

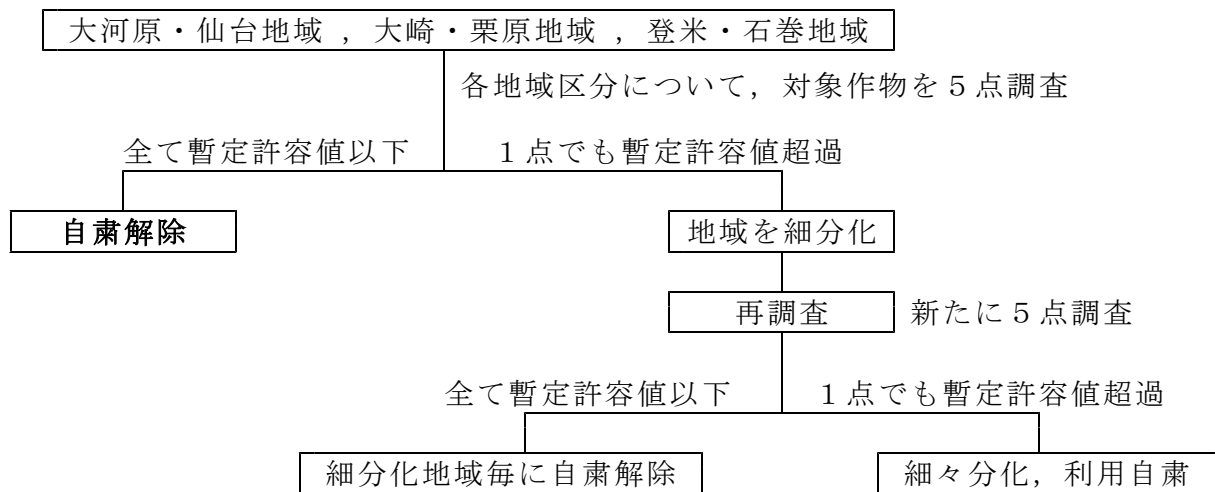
4 調査点数（本調査）

60点以上（3地域×4（単年生牧草，麦類，とうもろこし，WCS用稲）×5点）

5 測定方法

NaIシンチレーション検出器

6 調査から自粛解除までの流れ（本調査）



7 調査日程

	4～5月	6～7月	8～9月	10～12月
単年生牧草	●			●※1
麦類	●			●※1
飼料用とうもろこし			●	
WCS用稲			●	

※1 必要に応じて調査を行う。

8 その他

調査対象作物以外の作物については，平成24年3月2日付け畜産振興課長通知の飼料作物区分に従い，判断する（例：ソルガムは飼料用とうもろこしの測定結果で判断）。